

「コンクリートの耐久性向上に関する日独セミナー」のご案内

材 料 研 究 室

コンクリートの耐久性向上により構造物の長寿命化を実現させ、ライフサイクルコストを低減させることは、現在のコンクリート技術において最重要課題の一つであります。

この度、北海道開発土木研究所は、流動研究員として、ドイツ・バウハウス大学 F.A.フィンガー建設材料科学研究所所長のスターク教授およびモーザー博士を招へいし、下記のとおりセミナーを開催することとなりました。バウハウス大学では、物理化学分析や環境顕微鏡による生成物の観察により、コンクリートの耐久性評価を行う研究がなされておりますが、ここ数年は、北海道開発土木研究所、北海道大学、日鐵セメント、日本データサービスと共同研究を実施する等、活発に研究交流が行われています。

セミナーでは、コンクリートの耐久性向上に関する5題の講演を予定しております。多数のご参加をいただきますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時：平成15年7月30日（水）13:00～17:00
2. 会 場：北海道開発土木研究所1階講堂
3. 参 加 費：無料
4. 定 員：100名
5. 申込方法：参加を希望される方は、①参加者氏名、②勤務先・所属、③連絡先を明記し北海道開発土木研究所材料研究室宛 Faxにて（Fax:011-837-8165）お申込み下さい。
6. 問合せ先：北海道開発土木研究所材料研究室（Tel:011-841-1719担当：嶋田）
7. 講演者（予定）
 - バウハウス大学 Prof. Jochen Stark
 - バウハウス大学 Dr. Bernd Möeser
 - 北海道大学大学院工学研究科教授 佐伯 昇
 - 日本データサービス 技術顧問 太田利隆
 - 北海道開発土木研究所材料研究室長 田口史雄